

## 令和 8 年度 兵庫陶芸美術館 施設警備業務委託仕様書

この仕様書は、甲（委託者：兵庫陶芸美術館）と乙（受託者）が締結する契約書に基づいて実施する作業の概要を示すものである。

業務の目的・・・兵庫陶芸美術館（以下「施設」という。）内の安全秩序の維持・財産の保全を目的とし、施設内外の巡回・夜間警備等を実施する。

実施場所・・・兵庫県丹波篠山市今田町上立坑 4 兵庫陶芸美術館

委託期間・・・令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

施設面積 49,323.58㎡

建物名称	構造	規模	延床面積
エントランス棟	R C 造	地上 3 階	1,041.30 ㎡
展示棟	R C 造	地上 2 階、地下 1 階	3,032.18 ㎡
管理棟	R C 造	地上 2 階	1,378.65 ㎡
研修棟	S 造	地上 2 階、地下 1 階	803.60 ㎡
茶室	木造	平屋	97.46 ㎡
廊下他	S 造他	平屋	208.11 ㎡
延床合計			6,561.30 ㎡

### 1 全般的事項

乙は、作業の実施完成について、法律上のすべての責任を負うものとする。

乙は、業務に従事する作業員に対し、使用者としての法律に規定されたすべての義務を負うものとする。

乙は、各部門に現場責任者を置き、その氏名を届け出なければならない。現場責任者は業務を統括し、作業計画の立案作成及び業務実施に関する指揮監督を行うとともに、常に甲と緊密な連絡を保ち、効率的な運営を図らなければならない。

また、乙は施設管理委託事業者等と連携を密にし、相互に応援し、十分に効果を発揮するものとする。

なお、業務に要する制服、事務用品、消耗品は甲の承諾を得て乙が準備することとする。

### 2 業務の範囲

業務の範囲は次のとおりとし、作業仕様はそれぞれ各業務の仕様書に定めるところによる。

A 保安警備業務

B 場内警備業務

### 3 業務の引継ぎ等

(1) 乙は、契約期間満了に伴い次年度受託者への業務の引継ぎが生じた場合には、信義に従い誠実に引継ぎを行う義務を有することとする。

(2) 本委託業務の実施に必要な文書、マニュアル類を作成・収受したときは、執務室内に備え

置き、契約期間満了に伴い次年度受託者への業務の引継ぎが生じた場合には、次年度受託者へ引き継ぐこと。

#### 4 その他

この仕様書に定めのない事項については、その都度双方協議のうえ、定めるものとする。

# 業 務 別 仕 様 書

## A 保安警備業務

### 1 人員及び勤務時間

警備員は、甲種防火管理者、防災センター要員資格講習受講者、普通救急救命講習受講者の資格を有する者を1ポスト配置するものとし、次のとおりの勤務とする。

年中無休：9時30分から翌日9時30分まで

※ 定時業務を8時から10時、16時から18時までの間に集中させること。その他の手待ち時間については労働基準法の監視断続許可申請又は宿日直許可申請を行い人件費の縮減に努めること。

### 2 一般的事項

(1) 警備員の業務内容は、概ね次のとおりとする。

- ① 来館者の受付及び案内などの出入管理業務
- ② 出入口管理、館内巡回、施設の管理・監視などの施設管理業務  
なお、館内巡回等で守衛室を離れる場合は、施設管理委託事業者の設備員と連携し、出入口管理が停止しないようにすること。
- ③ 火災、盗難及び各種事故の未然防止と早期発見
- ④ 来館者けが人等の救護業務
- ⑤ 拾得物の保管、管理
- ⑥ その他前各号に付随する業務
- ⑦ 美術館より貸与された鍵の保管管理

(2) 館内及び敷地の秩序の維持、火災の予防及び取締り並びに警戒にあたるに際し、本仕様書を遵守するほか、警備業法その他法令、消防計画等に従い、業務を適正に遂行するものとする。

(3) 乙にあつては、警備業法第4条の規定による認定を受けていなければならない。また、警備業法第6条の3の規定のとおり、自己の名義をもって、他人に警備業を営ませてはならない。

(4) 乙にあつては、警備業法第11条第2項の規定のとおり、警備員に対し、警備業法第4章の規定によるほか、内閣府令で定めるところにより教育を行うとともに、必要な指導及び監督をしなければならない。

(5) 乙は、警備員の氏名、略歴及び取得資格について、甲にあらかじめ証明書（資格書、健康保険証等の写し）を添付した文書で届出なければならない。

(6) 警備員は、制服を着用し、氏名を記入した名札をつけるものとする。また、職員及び来館者に対しては、常に厳正、かつ懇切でいねいな態度をもって接し、不快な印象を与えることのないように努めなければならない。

(7) 警備員は、その職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(8) 乙は甲に1日の業務結果を日報にまとめて報告しなければならない。

## B 場内警備業務

### 1 人員及び勤務時間

警備員は、警備業法に基づく警備員で、普通救急救命講習受講者の資格を有する者を、別紙「場内警備員配置表」のとおり配置させる。

なお、来館者の急増及びイベント実施等により、警備員の増員が必要となったときは、当年度契約単価により別途契約するものとする。

## 2. 一般的事項

(1) 警備員の業務内容は、概ね次のとおりとする。

- ① 進入車の安全誘導、乗降時の安全確認
- ② 空車・満車の確認、表示及び進入車への対応
- ③ 進入車誘導看板等案内設備の管理
- ④ 場内進入車両のスムーズな流れの確保
- ⑤ 守衛室および他ポストとのフレキシブルな協力体制
- ⑥ 来場者への簡易な問合せへの対応
- ⑦ 場内外巡回による来場者の安全確認（敷地内、場外駐車場も含む）
- ⑧ その他前各号に付随する業務

(2) 乙は、駐車場内及び入庫待ちによる場外の混雑時並びにトラブル等の発生時には、適切な案内及び誘導を行い、駐車場内及び場外の混雑解消及び事故防止に努めるものとする。また、万一の事故発生の際には被害拡大の防止措置を講ずるものとする。

(3) その他については、保安警備業務の一般事項（3）から（8）に準ずるものとする。